

**北但大震災を語り継ぐ
田結村の奇跡**

北近畿を襲った二大地震

地震の区分	北但馬地震(北但大震災)	北丹後地震
発生年月日	大正14年5月23日	昭和2年3月7日
発生時間	午前11時9分57秒	午後6時27分
地震規模	マグニチュード 6.8	マグニチュード 7.3
最大震度	震度6 (当時の最大震度階級)	震度6 (当時の最大震度階級)
震源地	円山川河口部付近	丹後半島北部
関連する断層	不明	郷村断層、山田断層
主な被災地	旧豊岡市、城崎町	旧峰山町、網野町、岩滝町
死者数	428人	2,925人
負傷者数	792人	7,806人

震災記念碑と銘板(田結)



北但大震災において、港村田結では83戸中82戸が全半壊し、村民440人の内65人がその下敷きになった。一瞬にして3か所から火が燃え上がったが、**村民は救助より消火を優先して延焼を食い止め、消火後に58人を助け出した。**この沈着で賢明な行動に対して、震災後に断層調査に来た地震学者の今村明恒博士は、「震災国日本における模範的な行動」と賞賛し全国に紹介した。



震災記念碑

震災記念碑（北但大震災）
大正十一年（一九二二年）三月二十五日
日本に於ける大震災は、死者約二十万人、
罹災者約四百五十万人、被害額約千億に達し、
我が国に於ける空前の大惨事と爲り、
其の惨状は、世に語り傳へずして、
見るに堪はず。然るに、
此の大震災に罹り、
我が国に於ける、
震災記念碑の建立は、
大正十一年（一九二二年）三月二十五日、
（北但大震災）

記念碑裏面の碑文が
磨滅しているため、
それを翻刻した銘板

震災記念碑（北但大震災）

大正十四年（一九二五年）五月二十三日午前十一時十一分未曾有ノ強震但馬地方ヲ震ラ 当区震源地トシテ被害近郷ニ比ナシ

死者七人 傷者四十六人 全戸八十三ノ内全壊六十七 半壊十五 破損一也 時恰力毛春蚕期トテ各所ニ出火セシモ区民一致防火ニ努メ未然ニ止メル 然レド毛部落一田戰場ノ如キ惨状ニテ手ノ施シヤウナク取敢ヘズ小并戸浜 俣田 犬坂ノ三カ所へ各自避難ス 尚モナク時難収拾ノ為 復興委員長磯崎為造氏外六名ノ委員ヲ選任シテ陣容ヲ整ヘ共同作業ヲ行ヒ震災復興ニ立子上カル 調査團ニヨル精査ノ結果当地ヲ震源地ト断定セリ

昭和十五年（一九四〇年）十月建立

兵庫県城崎郡港村田結
（現豊岡市田結）

銘板に刻まれた当時の記録

震災記念碑（北但大震災）

大正14年（1925年）5月23日午前11時11分未曾有の強震但馬地方を震ふ（ふるう）。当区震源地として被害近郷に比なし。

死者7人、傷者46人、全戸83の内全壊67、半壊15、破損1也時恰（あた）かも春蚕期（しゅんさんき）とて各所に出火せしも区民一致防災に努め未然に止める。

然れども部落一円戦場の如き惨状にて手の施しやうなく、取敢えず小井戸浜、仲田、犬坂の三箇所へ各自避難す。

間もなく時難收拾（じなんしゅうしゅう）の為、復興委員長磯崎為造氏他6名の委員を選任して陣容を整え、共同作業を行ひ震災復興に立ち上がる。調査団による精査の結果、当地を震源と断定せり。

昭和15年（1940年）10月建立

兵庫県城崎郡港村田結（現豊岡市田結）